

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：精華町

プロジェクト名	精華町住民満足度向上プロジェクト	実施期間	平成27～28年	テーマ	その他	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	平成23年に実施された精華町第5次総合計画策定に向けた住民意識調査において、「精華町で暮らすこと」の総合的な評価として、「満足している」及び「まあ満足している」を選択した方は回答の約60%となっており、全体として一定程度の満足度は得られている一方で、精華町での暮らしに満足されていない方も4割近くいることが浮き彫りになっている。 精華町は学研都市の開発に伴って急激に人口が増加（主にファミリー層が主体）した町であり、将来的な視点から見ると、新興地域においては今後の世代交代後における定住の維持、既存地域においては高齢化対策という、それぞれの課題への対応が問題となってくる。 このような中、住民の暮らしへの満足度を向上させることで、今後も住み続けたいまちとして住民に認識されるような施策が必要となっている。						
プロジェクトの目的及び概要	精華町の住民満足度の向上策として、比較的住民満足度が低くかつ重要度が高い、交通の利便性・安全性の向上に向けた様々な施策を実施する。また、住民による地域活動を積極的に支援することにより、それぞれの活躍の場を通じて、地域の一員であるという実感を住民一人一人に実感していただく。これらを通じて、住民の満足度向上を図ることを目的とする。 また、この実現に向けた具体的施策として、国際自転車ロードレース「ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ」の実施に合わせた周遊ルートの整備や情報発信の強化に取り組むことで、単純に利便性・安全性の確保に留まらない魅力的な交通整備を進める。						
	総事業費（千円）	134,506	本年度事業費（千円）	66,406	交付金額（千円）	7,960	

プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績(出来高数値等)

事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）
市町村実施事業	道路照明まるごとLED化事業	交付対象事業	頻繁に球切れが発生する既存の道路照明(安全灯)をLED化することにより安全な交通環境を確保。	交通安全灯：874灯、道路照明灯：90灯
	コミュニティバス実証運行事業	交付対象事業	庁内巡回バスの運行による住民の交通手段の確保。	年間乗降客数：75,669人（211人/日）
	交通安全施設整備事業	交付対象事業	交通危険箇所へのカーブミラー等の設置。	カーブミラー新設：6基、交通安全灯新設：17基
	簡易水道統合事業	交付対象事業	既設上水道と簡易水道との接続工事に対する地方債償還に係る公債費。	統合事業に係る地方債償還（元金）：5,271千円
	ツアー・オブ・ジャパンから始まる自転車を活用した地域づくり事業	関連事業	ツアー・オブ・ジャパンのレースコースを中心とした周遊ルートの整備と情報発信の強化。	ツアー・オブ・ジャパンによる交流人口：50,000人
住民協働事業	公共的活動推進事業	交付対象事業	公共人材の育成や支援により住民主体のまちづくりを推進。	せいかまちづくり塾開催回数：5回、修了者数8人
	里山保全モデル事業	交付対象事業	「せいか里山」の保全・再生を行い、町民の憩いの場を創る。	保全活動参加人数：341人
	精華町クリーンパートナー制度	関連事業	町内道路・公共施設の清掃や除草、花植などの住民活動。	年間を通じ、各団体が随時清掃・除草等の作業を実施。
	さわやかボランティア・ロード	関連事業	庁内府道の清掃や除草などを行う住民活動。	年間を通じ、各団体が随時清掃・除草等の作業を実施。
	山城うるおい水辺パートナーシップ	関連事業	庁内河川敷等の除草・清掃を行う住民活動。	年間を通じ、各団体が随時清掃・除草等の作業を実施。
	きれいなまちづくり運動推進事業	関連事業	住民の自主的なまちづくりへの啓発、誘導。	きれいなまちづくりコンクール応募数：419点
	まちづくり条例に基づく補助金事業	関連事業	地域の景観・文化・コミュニティの形成等、地域の活性化を推進。	助成団体：2団体
	住民が取り組む事業			

成果指標①	成果指標の目標数値	公共交通に対する満足率 55.0%		成果指標の実績値（平成29年3月時点）	60.3%
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	目標値を上回ったため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標②	成果指標の目標数値	精華くるりんバス年間乗降客数 77,000人		成果指標の実績値（平成29年3月31日時点）	75,669人
	成果指標の達成状況	△	（左の理由）	目標値及び前年度数値を下回ったため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標③	成果指標の目標数値	里山定例保全活動数 250人		成果指標の実績値（平成29年3月31日時点）	341人
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	目標値を上回ったため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標④	成果指標の目標数値	クリーンパートナー制度登録団体数 20件		成果指標の実績値（平成29年3月31日時点）	23件
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	目標値を上回ったため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）

本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果
※未達成の場合も効果を記載すること

各事業における住民・関係団体等への働きかけやPRの結果、概ねの成果指標において目標を達成することができた。これらの取り組みによって、『精華町で暮らすこと』の総合的な評価は、平成24年3月に実施した住民意識調査よりも平成29年3月に実施した住民意識調査の方が上回る結果となった。

※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応策についても記載すること。

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	クリーンパートナー等の協力により、町内の美化が進んだことに加え、居住している町・地域への愛着を深め、暮らしへの満足度を高める効果がある。
	府と市町村等との連携に資する成果	京都府、京田辺市との共同でツアー・オブ・ジャパン京都ステージを開催し、交流人口の拡大を図ることができた。
	住民の自治意識を高める成果	まちづくり塾により、地域におけるまちづくりの担い手を育成することができた。また、各種住民との協働事業により、まちを自分たちの力でより良くしていくという意識が醸成された。
	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	交通安全灯及び道路照明灯のLED化により、電気代が削減されるとともに、球切れ対応が減少し時間外等の対応が軽減している。
	その他の成果	

（記載要領）

- プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：精華町

プロジェクト名	「せいか365」精華町健康増進プロジェクト		実施期間	平成27～28年	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	本町では、生活習慣病の方や介護を必要としている方が増加しており、その予防が、個人や家族の健康問題としてのみならず、医療費など保険給付費の伸びの抑制の面からも、地域や町全体の喫緊の課題となっている。本町の扶助費の当初予算額は、平成22年から平成27年までの5年間で2億9,276万円（約20%）の増額となっており、いずれ財政運営に支障を及ぼす可能性も危惧される状態となっている。 このような状況において、健康寿命の延伸のため、町民一人ひとりが健康づくりに主体的に参画することで、笑顔でつながり地域で支えあいながら、世代や性別、障害の有無、家庭環境に関わらず、健やかに元気に満ちた地域社会を実現するための取り組みが必要となっている。							
プロジェクトの目的及び概要	「健康ダカラ毎日が楽しい！せいか365(さん・ろく・ご)」をキャッチコピーとして、「ヘルスプロモーションの考え方に基づいた健康づくりの推進」、「病気予防と元気増進の調和がとれた健康づくりの推進」、「住民参加・参画による健康づくりの推進」、「地域包括ケアシステムの推進」、「健康でいきいきとした人生を送るための支援」を目標とした各種施策を実施する。							
	総事業費（千円）	139,370	本年度事業費（千円）	16,571	交付金額（千円）	3,745		

プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績(出来高数値等)

事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）
市町村実施事業	健康づくり推進事業	交付対象事業	健康増進への意識向上を図り、それを実践に結び付けていくための諸活動。	健康づくりプロジェクトのべ参加者数：10,305人
	障害者在宅生活推進事業	交付対象事業	障害者の自立と社会参加の促進を図るための支援を実施。	障害児移送サービス利用者数：約40人/月
	家族こころの相談室事業	交付対象事業	家族・家庭内の様々な問題に悩んでおられる方への相談室開催。	相談室利用件数：55件
	高齢者居宅生活支援事業	交付対象事業	要介護高齢者や一人暮らし高齢者及びその家族等の在宅生活を支援。	介護者激励金支給者数：85人
	産学公連携プラットフォーム運営事業	関連事業	「オール京都体制」によるプラットフォームチームを編成し、研究開発を推進。	健康ポイントシステムを活用した健康増進サポート事業を行うための整備。
住民協働事業	福祉人材・ボランティア育成事業	交付対象事業	高齢者や障害者等を対象にした各種ボランティアの育成。	ボランティア養成講座開催回数：4回
	精華町ふれあいまつり事業	交付対象事業	地域福祉センターで開催される、町民と高齢者、障害者がともに楽しみ、交流の輪を広げるための行事。	ふれあいまつり参加者数：約2,000人
	精華町敬老会	交付対象事業	満74歳以上の高齢者を対象に、長寿を祝福し、一層の健康と活躍を記念する行事。	敬老会参加者数：650名
	いきいき健康ウォーク	関連事業	精華町内外でのウォーキング活動。	参加者数：560人
	わくわく健康里山の会	関連事業	里山交流広場を利用し、里山での野菜作りや土いじりなどを行う。	参加者数：518人
	さあ！これから塾	関連事業	50～70代の方々が集まり、交流を深めながら様々な活動を行う。	参加者数：384人
	ふれあいサロン	関連事業	高齢者や障害者、その家族などが地域での交流を深め、より充実した生活を送れるようサロンの運営。	交付団体：3団体
住民が取り組む事業	せいか食育劇団もぐもぐ	関連事業	町内の子どもたちに人形劇や寸劇を通して「食」の大切さを伝えるボランティア事業。	参加者数：2,115人
	いちご★体操プロジェクト	関連事業	町のご当地体操である「いちご★体操」の普及を図るボランティア事業。	参加者数：6,460人

成果指標①	成果指標の目標数値	健康増進活動プロジェクト参加者数 11,500人		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	10,305人
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	目標値は下回ったものの、新たなプロジェクトを行い、前年度(10,175人)を上回る実績となったため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	健康講演会受講人数 450人		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	428人
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	目標値は下回ったものの、前年度(418人)を上回る実績となったため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標③	成果指標の目標数値	福祉ボランティア人数 620人		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	581人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	目標人数に到達できなかったため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	

本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	各種健康プロジェクトについては、情報発信の充実やプロジェクトの参加・参画者の拡大を意識した企画を行っており、一定、住民の間にも浸透してきている。平成28年度には新たなプロジェクトを稼働させ、日ごろの生活における健康づくりの重要性についての認識は深まってきている。しかしながら、目標値の達成には至っておらず、プロジェクトの見直しなどを行って、より良い健康づくりにおける行政と住民の協働のしくみをつくっていく必要がある。
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	各種健康増進プロジェクトにより、児童から高齢者まで多くの方への健康に関する啓発活動を行うことができた。
	府と市町村等との連携に資する成果	京都府より「産学公連携プラットフォーム事業」を受託し、健康ポイントシステムを活用して健康増進をサポートするための整備を行うことができた。
	住民の自治意識を高める成果	健康増進プロジェクトの担い手は住民ボランティアであり、住民が町をより良くするための自発的な取組が進んでいる。
	リーディング・モデル成果	健康づくりプロジェクトの“せいか食育劇団もぐもぐ”が優れた「早寝早起き朝ごはん」運動に係る文部科学大臣表彰を受賞するなど、その取組は先行事例として評価を受けている。
	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	健康への関心が高まり、健康長寿のまちづくりを実現することで、扶助費等の削減につながる。
	その他の成果	

(記載要領)

- プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：精華町

プロジェクト名	文化的活動を通じた豊かなまちづくりプロジェクト	実施期間	平成27～28年	テーマ	その他	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	精華町をはじめとするけいはんな学研都市は、日本固有の文化を代表する京都・奈良といった歴史地域に囲まれた、豊かな歴史文化と先進的な学術研究機関の融合した都市である。本町では、さまざまな先進技術を有する企業の立地が進むなど、ますます学術研究の都市としての地盤を固めている。しかしながらその一方で、文化学術研究都市の「文化」の面では、いまだ精華町の特徴を出せていないのが現状である。このような状況において、文化的活動が地域社会にもたらす効用を再認識し、住民の生活にゆとりや潤い、生きがいなどの精神的な充足感をもたらす取り組みが必要となっている。特に精華町は学研都市の中心に位置することから、古くから受け継がれた文化に加え、学研都市の優位性を活かした特色ある取り組みを進めることが求められている。						
プロジェクトの目的及び概要	読書やスポーツ、コンサートや祭りなどのイベント等文化的・教育的活動を通して、子どもは健やかに育ち、高齢者はいきいきと活力をもって暮らしていけるようにするための様々な事業を実施する。また、学研都市にふさわしいグローバル化された文化的なまちを目指すべく、国際交流の推進事業を実施する。 さらに、既存のメインカルチャーのみに留まらずサブカルチャーなどの新たな文化の振興にも取り組むことで、地域の新たな魅力を発信（シティプロモーション）し、これまでは十分ではなかった観光分野での誘客力の向上にまで繋げていく。						
	総事業費（千円）	56,440	本年度事業費（千円）	32,779	交付金額（千円）	7,376	

プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績（出来高数値等）

事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）
市町村実施事業	文化振興事業	交付対象事業	町民の文化・スポーツに対する意識の高揚に向けた、各種奨励金や活動助成等。	精華町文化協会会員数：605人（8連盟35団体）
	文化交流会開催事業	交付対象事業	各小中学校の交流の場として、合同合唱コンサートを行い文化的活動を推進。	小中学校文化交流会開催：年1回
	文化財保護事業	交付対象事業	地域的特性が生かせるような保護施策。	精華町文化財愛護会会員数：87人
	京都アカデミック産業創造事業	交付対象事業	大学機関等との連携によるクリエイター人材育成支援に向けた事前調査。	京都精華大学と連携協定包括協定を締結
	学研都市建設推進・活性化事業	関連事業	学研都市活性化を目的とした各種イベントの誘致費用。	ツアー・オブ・ジャパンによる交流人口：約50,000人
	移動図書館車運行事業	関連事業	町内移動図書館車の運行。	移動図書館運行地区：24地区、貸出点数：9,334点
	サブカルチャーを軸にした観光振興・地域創生事業	関連事業	「サブカルチャー」文化を起点とした取り組みにより、交流人口の増加させ、地域の消費活動を促進。	「まっふる京都精華町」の制作、地域資源活用アプリの開発、各種ノベルティの制作など。
住民協働事業	けいはんな学研都市文化振興事業	交付対象事業	ふれあいコンサートなどの実施。	ふれあいコンサート等開催回数：年4回
	生涯スポーツ振興事業	交付対象事業	町民の健康増進と相互交流の振興。	精華マラソン参加者数：446人 町民体育大会参加者数：4,350人
	国際交流推進事業	交付対象事業	国際交流・理解に関する各種事業を民間団体と共催。	国際理解フェスティバル：40人 国際交流イベント「世界のお茶・コーヒー文化」：44人 など
	生涯学習支援事業	交付対象事業	住民の自主活動の育成及び生涯学習の充実と推進。	精華寿大学延べ受講者数：490人 など
	今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業	交付対象事業	地域の観光資源を活用した観光農業の推進。	商品開発に伴う助成数：3件
	地域密着型情報化推進事業	関連事業	活発な住民間情報交流の推進。	せいか地域ITサポーター年度末登録者数：34人
	せいか祭り開催負担金	関連事業	住民や関連企業と連携して地域活性化を図るとともに文化活動を推進。	せいか祭り来場者数：34,000人
	子ども祭り事業	関連事業	子どもたちに体験を通じた学習の場を提供。	子ども祭り参加者数：1,500人
住民が取り組む事業				

成果指標①	成果指標の目標数値	学研都市イベント参加者数 42,000人		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	85,659人
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	目標値を上回ったため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	文化フェスティバル出演・出演者数 500人		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	603人
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	目標値を上回ったため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標③	成果指標の目標数値	精華町子ども祭り参加者数 2,500人		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	1,500人
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	目標値は下回ったものの、前年度数値（1,100人）を大幅に上回ったため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標④	成果指標の目標数値	国際交流事業参加者数 600人		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	777人
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	目標値を上回ったため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	

本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること

文化イベントの新設や開催内容の見直しなどを行ったことによって参加者数が増加し、成果指標のほとんどで目標数値を達成することができ、文化活動の推進につながることができた。また、サブカルチャーなどの新たな文化・芸術の振興にも取り組み、交流人口を拡大することができた。

※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	住民協働で行っている地域密着型情報化推進事業では、ICTの活用による地域情報化を推進しており、学研都市ならではの地域人材を活用した取り組みが行われている。
	府と市町村等との連携に資する成果	京都府、京田辺市との共同でツアー・オブ・ジャパン京都ステージを開催し、交流人口の拡大を図ることができた。
	住民の自治意識を高める成果	各種住民協働事業においては、知識・経験を持った地域人材が講師となって住民間での知識の伝承が行われるなど、地域内での協力関係が構築されている。
	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	関西文化学術研究都市の中心地である精華・西木津地区における文化振興を推進することにより、3府県8市町にまたがる学研都市全体のブランドイメージ向上に資することができる。
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	学研都市にふさわしい文化的なまちづくりに向け、住民と一体となった取組みを進展させることができた。

(記載要領)

- プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：精華町

プロジェクト名	未来をひらく人材育成のための環境整備プロジェクト	実施期間	平成28～30年	テーマ	その他	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>関西文化学術研究都市に位置する本町では、世界最先端の科学と文化が集積する先進的な教育環境の中で、時代の変化に柔軟に対応した教育を推進し、確かな見通しを持って主体的に生きていけるひと、創造性あふれる心豊かなひとを育成するため、教育内容や教育環境をさらに充実させることが求められている。</p> <p>しかしながら、平成27年度において町内全小中学校の耐震化が完了したものの、空調設備は未設置であり、生徒・児童は過酷な環境での学習を行っているのが実態である。また、情報化社会の進展や支援が必要な生徒・児童への対応などの今日的課題についても対応が必要である。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>ハード面においては、生徒・児童が集中して学習に打ち込めるよう、空調をはじめとした環境整備を行う。また、ソフト面においては、科学のまちの子どもたちプロジェクトを中心に、子どもたちに科学とモノづくりを学ぶ機会の提供を進める。これら教育環境の向上につながる諸施策を実施することにより、学力の向上を目指すのみならず、我が国が誇る科学技術の継承し、地域で活躍することのできる人材の育成を目指す。</p>						
	総事業費（千円）	718,744	本年度事業費（千円）	16,692	交付金額（千円）	2,491	
プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	中学校給食基本構想策定事業	交付対象事業	中学校給食を見据えた基本資料調査。		中学校給食にかかる住民アンケート調査の実施。		
	空調設備整備事業	関連事業	快適に学べる環境を整備するため、小中学校に空調を整備。		小中学校空調設置に係る実施設計の策定。		
	サブカルチャーを軸にした創作活動支援研究拠点整備事業	関連事業	KICK内に創作活動のための施設を新たに整備。				
住民協働事業	科学のまちの子どもたちプロジェクト	交付対象事業	学研都市の特色を活かして科学やモノづくりを学ぶ機会の提供。		ロボット教室開催数：年8回		
	特色ある学校づくり支援事業	交付対象事業	各学校の伝統や校風などの特色を活かした学校づくりへの支援。		各学校の特色ある学校づくりに係る取り組みへの助成。		
	コミュニティスクール推進事業	関連事業	学校・家庭・地域が連携した事業の実施。		コーディネーターの配置：1人		
	出前授業実施事業	関連事業	学研企業などと連携し、出前授業の実施。		出前授業件数：年20回		
住民が取り組む事業	けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク	関連事業	自然観察倶楽部やジュニアロボットクラブなどの体験学習の実施。		プロジェクト参加者数：1,738人		
成果指標①	成果指標の目標数値	「科学のまちの子どもたち」プロジェクト参加者数 2,100人		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	1,738人		
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	目標値を下回ったため。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)			(時期)		
成果指標②	成果指標の目標数値	学研立地機関等出前授業件数 23件		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	20件		
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	目標数値を下回ったため。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)			(時期)		
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>科学のまちの子どもたちプロジェクトでは、成果の目標数値は達成できなかったが、K-SCAN(けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク)と共催してプロジェクトの推進に向け事業実施を行うことができ、未来を担う子どもたちが、最新の科学に接することができる機会を提供することができた。今後はプロジェクトを推進するためのハード整備やプログラムの見直しなどを行い、目標数値が達成できるよう努める。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>						
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果						
	府と市町村等との連携に資する成果	京都府が所有するけいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)を改修し、教育環境の充実を図る。					
	住民の自治意識を高める成果	コミュニティスクール推進事業を行い、保護者や地域住民が学校運営に参画することによって、開かれた学校・社会総がかりの教育の推進を図ることができた。					
	リーディング・モデル成果						
	広域的波及成果	関西文化学術研究都市の中心地である精華で学研都市の特色を活かした取り組みを行うことにより、3府県8市町にまたがる学研都市全体のブランドイメージ向上に資することができる。					
	行財政改革に資する成果						
	その他の成果						

(記載要領)

- プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。